

白神山地の魅力を伝え続けるために
～^{だけだい}岳岱自然観察教育林の更なる PR の取組～

藤里森林生態系保全センター

発表者・チームリーダー	生態系管理指導官	盛 一樹
発表者	秋田白神ガイド協会 会長	斎藤 栄作美
	白神山地世界遺産センター藤里館	
	自然アドバイザー	白鳥 万里
	秋田白神ガイド協会ガイド	畠山 明
チーム員	行政専門員	仙北谷 誠
	主事	谷川 麗輝
アドバイザー	所長	山本 毅

1 背景と目的

白神山地とは、世界自然遺産地域（以下、遺産地域という。）を含む約 13 万 ha にわたる広大な山地帯の総称で、遺産地域の周辺地域にも、自然豊かで登山や自然散策に適した場所が数多くあるなか、その白神山地への入山者数はピークより年々減少しているため、地域団体と連携し、白神山地の更なる PR に取り組みました。

今回着目したのは、大館能代空港からレンタカーで約 80 分と都市部からのアクセスも良く、遊歩道も完備され原生のブナ林を気軽に散策できる、岳岱（だけだい）自然観察教育林（以下、岳岱という。）です。岳岱を紹介する際、ガイド等関係者は揃って「遺産地域の原生のブナ林を疑似体験できる場所」と説明しますが、来訪者に示す可視化されたデータもなく、平坦な台地状の岳岱と違い、遺産地域のほとんどは急峻な地形で容易に入山できず、比較して見るのが難しいためです。このような背景から、遺産地域と岳岱の林分構造を調査、可視情報化することで、岳岱の更なる PR に資することを目的としました。

2 材料と方法

岳岱は、入口付近にあるブナ二次林及びスギ人工林を除いた遊歩道周辺に 0.726ha（W=10m, L=726m）の調査区を設定し、樹種、胸高直径及び樹高の毎木調査を実施しました。遺産地域の林分構造データは、5 年に 1 度実施している秋田固定調査区の毎木調査データ（令和 2 年度分）を活用しました。それぞれのデータを 1ha 当時に換算した上で、種数、優占種、径級クラス別本数を比較しました。

3 結果と考察

（1）種数

岳岱 15 種（アオダモ、イタヤカエデ、キハダ、ケヤキ、コシアブラ、サクルミ、センノキ、タモ sp.、ナカマト、ブナ、ホノキ、ヤチダモ、クロモジ、カメノキ、ツリバナ）、遺産地域 17 種（アオダモ、イタヤカエデ、ウダヤシバ、ウミズサクラ、キハダ、コシアブラ、サクルミ、ハチリカエデ、ブナ、ホノキ、ミズナラ、ヤマモジ、オハバクロモジ、オカメノキ、タムシバ、ツリバナ、リュウブ）と、木本種の多様性に目立つ差はありませんでした。

（2）高木性樹種の優占種

クロモジ等の低木種を除いた高木性樹種の本数比率を図-1 に示します。岳岱はブナが 77.4%、その他の樹種はすべて 10%以下、遺産地域はブナが 60.1%、その他の樹種はほぼ 10%以下と、岳岱、遺産地域ともにブナが圧倒的な優占種でした。

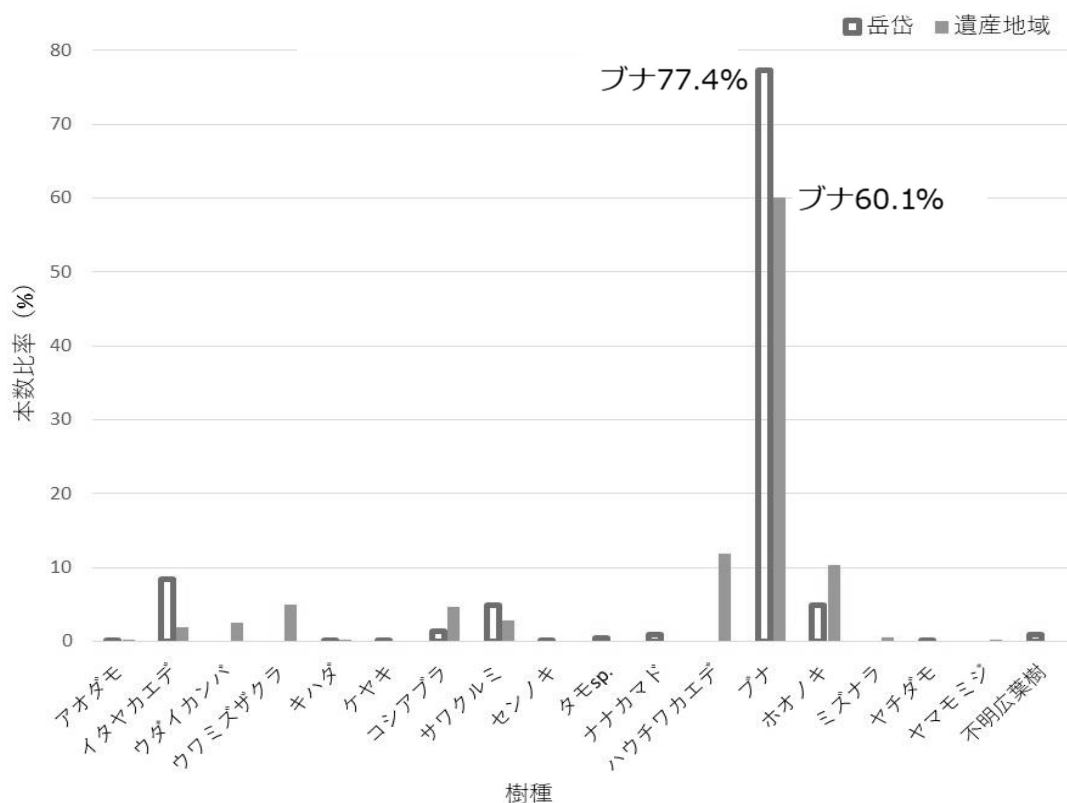


図 1 高木生樹種の本数比率

(3) 優占種であるブナの直径階別本数

おおむね樹冠層を形成すると考えられる胸高直径 30cm 以上のブナの直径階別本数を図-2 に示します。岳岱、遺産地域ともに 40~50cm を最大とし、80cm を超える大木も存在する、類似した分布傾向を示しました。

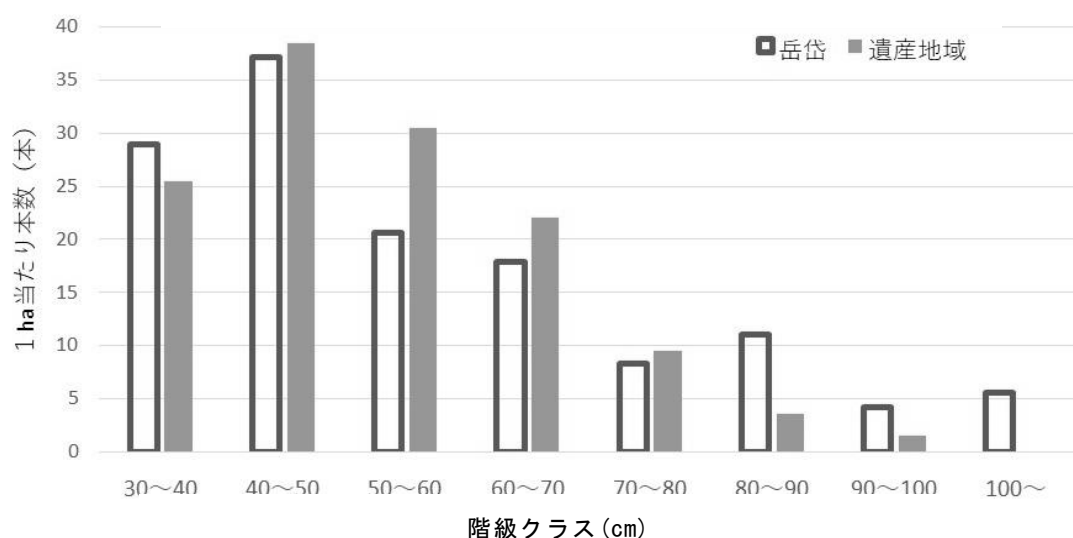


図 2 胸高直径 30cm 上ブナ径級クラス別 1 ha 当たり本数

(4) 白神山地の魅力を伝え続けるために

今回の調査で、岳岱は遺産地域に負けず劣らずの原生的ブナ林であることが数値的に示されました。一緒に取組んだ遺産地域にも詳しい地元ベテランガイドからは、「これで自信をもって“岳岱は遺産地域の原生的なブナ林を疑似体験できる場所”と説明でき、岳岱の更なる PR に活用できる。いい取組になった。」と好評でした。

白神山地が世界自然遺産に登録され 30 年が経過しました。世界が認める白神山地の豊かな自然を守り、次の世代につなぐためには、世間の関心が薄れないよう、より多くの人々へ白神山地の魅力を伝える人材が必要となります。「どうして大事なのか」「何が凄いのか」ということを、できるだけ多くの人に見てもらい、知ってもらうことが、自然を守っていくための第一歩です。

これまで藤里森林生態系保全センターでは、巡視による保全管理としての合同パトロールや、外来種駆除などの白神山地の「保全」においては地域団体等と連携してきましたが、これからは白神山地の「PR」においても地域団体等と連携した取り組みに努めるなか、来訪者の増加を図り、自然に親しんだことの記憶を引き継いでもらい、自然を守る人材が現れてくれることを期待しています。

4 白神山地 岳岱に来て、見て、感じてみませんか

岳岱は、前述のとおりアクセスが良く（図-3）、その入り口には公衆トイレもあり（写真-1・写真-2）、平坦な台地状で遊歩道も完備され、休憩所として利用できる多目的展示施設もあり、小さな子供からシニアの方まで気軽に散策できます。

シンボルツリーの巨木「岳岱大ブナ」「こまいぬシナノキ」、一般的なブナの寿命は 250～300 年といわれる中 400 年生きたとされる倒伏した「400 年ブナ」。春には新緑のブナ林が、秋には黄葉に染まり季節により表情を変える岳岱。足元に目を向けると苔むした巨石が転がり、寿命を迎え土に還ろうとする老木とそこに芽生えた若木たち、夏から秋にかけて元気に育つ多種多様なキノコ等々、本稿には書ききれないほど魅力にあふれた原生的ブナ林です。また運が良ければ、カモシカやキツツキなど野生の生きものたちとの出会いがあるかもしれません。

岳岱に来て、見て、感じて、白神山地世界遺産地域は、岳岱のような原生的ブナ林が約 1 万 7 千ヘクタールと世界最大級の規模で分布していることが評価され、日本で初めての世界自然遺産に登録されたんだなあと、思いを巡らせてみませんか。



写真-1 岳岱入口



写真-2 公衆トイレ



図3 アクセスMAP

5 アクセス等

- (1) 所在地：秋田県山本郡藤里町藤琴沢国有林 1135 林班ね 1 小班ほか
- (2) アクセス：①大館能代空港から車で約 80 分、②JR 能代駅から車で約 1 時間 40 分、③JR 鷹ノ巣駅から車で約 1 時間 30 分、④藤里町役場から車で約 50 分。
- (3) 散策時期：5 月～10 月下旬頃（例年 11 月～4 月は県道西目屋二ツ井線が冬季通行止め、令和 6～7 年度は落石対策工事等のため秋の紅葉シーズンを除いて県道西目屋二ツ井線が通行止めの予定。）
- (4) 散策経路：ウッドチップ遊歩道、木道、遊歩道含め 1 周約 1,8km、ゆっくり見て歩いて約 1 時間。岳岱をはじめ白神山地をより深く満喫するため、地元ガイドを活用してみてもいいかもしれません。